

箱崎地区

復興まちづくり協議会・地権者連絡会

議事要旨

記

■開催日時：平成 30 年 9 月 1 日（土） 14 時 00 分～15 時 57 分

■開催場所：箱崎集会所

■次第

1. 市長挨拶
2. 本日の趣旨とこれまでの経緯
3. 箱崎漁港海岸災害復旧（防潮堤）工事の進捗状況について
4. 最新の土地利用計画について
5. 箱崎半島線、箱崎半島 2 号線、鵜住居 2 号線の工事進捗状況について
6. 今後の工事実施予定について
7. 住宅再建宅地対策補助金について
8. 意見交換

意見交換（住民から市への質問と回答）

質問 1

水門の工期について、現在の進捗状況が 40%だと言っていたが、年数的にまだかかるのかと思う。1 日も早い完成をお願いする。

回答

平成 31 年度という目標を立てて、1 日でも早い完成を目指して頑張っていきたいと考えております。

質問 2-①

鶴住居 2 号線の改良工事で、残っている工事内容は、現在の道路を利用してやるのか新しく道路を築くのかお伺いしたい。

回答

今の現道を拡幅して工事を行う予定としております。そのために今調査を行っているところです。

質問 2-②

山を切ってということになるのか。

回答

山を切るか、谷のほうを埋めてやるかというところを検討していかなければならないと考えております。

質問 3-①

横瀬地区に上がっていくところと漁協の仮設事務所があったほうにも以前は道路の計画があったと思うのだが、ただ単に道路計画の見合わせと言うのではなく、説明が必要ではないのか。

回答

浸水していない区域については復興交付金を活用して整備ができないということで、今回見合わせることになりました。

質問 3-②

横瀬地区の道路計画の見合わせについて、復興交付金で整備できないというのは分かつ

たが、復興交付金以外での今後の整備方針を説明していただきたい。

回答

今後は、市内の幅員が狭い道路の優先順位を検討しながら、整備していきたいと考えております。

質問 4

震災前の県の指摘では、箱崎地区に 5箇所土石流の危険箇所があるとのことだったが、まだ 3箇所解消されていないところがあるので、そこを検討していただきたい。

回答

造成によってある程度原地盤のほうが盛り土されたので、震災前に指定されていた土石流の範囲に比べれば小さくなっていると思いますが、今後、再度ご説明の場があると考えております。雨の際にはパトロールをして状況確認をいたしますが、なにかお気づきの際は都市整備推進室まで連絡いただければ助かります。

質問 5-①

資料 25 ページの箱崎半島 2 号線と防潮堤の間にある水色で網掛けになった部分は漁業用地とあるがそこは市の土地なのか。

回答

市で買い上げた部分で、漁具置き場としての活用を検討しております。

質問 5-②

こういう虫食いではなく、将来そこを換地して、漁業用地は漁業用地でちょっと広めにするというような考え方はないのか。

回答

集約というのが現実的に難しいところもございますので、今のところは点在したままでの計画となっております。

質問 5-③

なぜ虫食い状況になったかというのは説明しないのか。

回答

もともと家が建っていないとか、雑種地で何もなかったという部分については、復興交付金で買い上げができなかつたので、住宅があった部分のみを移転促進区域というところ

で市が買収させていただいた状況です。

質問 6

前田地区の公営住宅の間、学校の跡地をグラウンドに整地するとか今後考えていただきたい。

回答

現状のままですと使用が難しい状況ですので、整地などの活用方針につきましては、今後検討させていただければと考えております。

質問 7

多目的グラウンドを作るとした場合はトイレと水道の設置をお願いしたい。

回答

維持管理費も生じることから、現状では設置は難しいと思われます。そのようなご意見をいただいたと言うことで持ち帰らせていただきます。

質問 8

危険区域の道路が完成した場合、そこをフラットに土盛りして地権者に返すのか、それとも今の状況のままでこぼこになった状態で返すのか。

回答

舗装、側溝を整備し、道路側溝の高さが確保されているかの確認をさせていただいた上で、原状復旧した状態でお返しすることで考えております。

質問 9

道路以外の脇の土地はそのままなのか。

回答

申し訳ございませんが、民地の整備予定はございません。

質問 10

公園が 3箇所できているが、公園らしくきちんと整備してもらいたい。

回答

箱崎地区の復興事業の予算を確認し、維持管理がかからないような形でどの程度まで整備ができるか、今確認しております。

質問 11

上前へ行く道路が狭くて危険なので、なんとしても拡張はお願いしたい。

回答

今後は、市内の幅員が狭い道路の優先順位を検討しながら、整備していくみたいと考えております。

質問 12

浸水によってガードレールが曲がって道路が狭くなっているのに、そこを復興交付金で直せないというのはどうなのか。

回答

今日ご意見をいただいたということで、持ち帰り確認させていただきます。

質問 13

震災後の、釜石市内の安全な場所を記したハザードマップを作ってほしい。また、ホームページでの閲覧が難しい人もいるので、紙で配布してほしい。

回答

このようなご意見が出たということで、防災担当課に報告します。

質問 14

集会所付近にリヤカー、担架などが保存できる備蓄倉庫みたいなものが欲しい。

回答

備蓄倉庫は今月中にできる事になっております。

質問 15

造成工事をする際に貸していた土地はどうなっているのか。

回答

用地境界の復元測量を実施して、杭を打った段階で皆様にお返ししたいと考えております。

質問 16

箱崎半島線は勾配がきついが、冬場の除雪、融雪等について今後どう考えているのか。

回答

昨年度の反省も踏まえて、今シーズンの除雪対応は、除雪業者の体制等も含めしっかりと構築していくたいと考えております。

質問 17

箱崎半島線の勾配は最初、恋の峠と同じ 8 % の設計だったのではないのか。

回答

箱崎半島線の線形を決めて勾配を決定する段階で、恋の峠も含め、全ての市道で 10% 以下の勾配で収めていくという説明をさせていただいしております。

質問 18

冬場は、根浜のスクールバスの運行経路を、安全のために変更するなど検討してはどうか。

回答

いただいたご意見を教育委員会に共有し、バスの運行経路については、改めて教育委員会と検討させていただきます。

質問 19-①

箱崎半島線の計画速度は 30km/h とのことだが、大渋滞や積雪時のときはその速度ではあの坂を上がれないのではないか。

回答

車両に多少の負荷がかかるることは予想されますが、坂を上れないということはないと認識しております。

質問 19-②

法定速度はいつ決まるのか。

回答

規制速度は、公安委員会との協議によって決定するため、具体的な決定時期についてはお答えできません。

質問 19-③

法定速度は何 km/h 予定なのか。

回答

30km/h 程度の規制になると想定されますが、まだ断言できません。

質問 20

集会所等にある「A E D」だが、普段鍵がかかっていて人もいないところに置いてあっても意味がないので、消防屯所の外につけるなどできないのか。

回答

いざという時に使用ができるように、「A E D」の設置場所について改めて検討してまいります。

質問 21

避難誘導路の標識と、避難場所 3箇所には目印に柱を立ててもらいたいなと思います。

回答

避難標識の設置についてはすでに実施の計画がございますので、順次設置してまいります。

【野田市長閉会挨拶】

それでは、何もないようでございますので、締めのご挨拶といいますか、今までいろいろなご意見いただきましたので、私のほうの感想も述べながら終了させていただきたいと思います。

まず、先ほど避難標識の話がありましたし、またハザードマップとか避難所の問題とか、さまざまなお話がありました。今朝、避難訓練もあったということで、改めて避難のあり方というものについて地域の皆さんも関心を持っていただいたというふうに思っております。

今日初めて英語で避難指示の発表といいますか、放送があったと思います。あるおじいちゃんから「何しゃべっているんだ。」という声もありましたけれども、これから海外の方々もたくさんおいでになりますので、折に触れてこうした英語ですね、中国とか韓国語、本当はいっぱいやらなくてはならないのですが、そんなにしゃべれる人いませんから、とりあえず日本語と英語ということで、英語をこれから時々放送で使わせていただくということでございますので、まずひとつその点お願ひをしたいと思います。

それから、今の標識でございますけれども、実は今回の3.11を契機に宮城県、それから岩手県の被災地で同じようにしようと、これは国である一定の形は決まっているわけですけれども、さらに宮城と岩手の被災地は同じ形にして、どこの地域に行っても同じように分かるようにしようということで今統一させてもらっています。それを今順次つくっておりますので、造成もやっと完了したということでございますけれども、これは当然整備をしていきたいと思っております。特に来年ラグビーがございますから、海外の方もたくさんおいでになりますので、防災についてはきっちりやっていきたいと思いますが、それに先立って地域の皆さんの協力が必要でございます。今日もいろんなご意見出ましたけれども、行政でやれるのは本当に限られていることでございまして、あとはどうしても地域の皆さんの連携が必要かと思いますので、ぜひ自主防災組織とかそういうもの、もちろん過去にはあったわけですから、もう一回、今やっと1件、2件戻ってきてる段階かと思いますけれども、ぜひ自主防災組織をもう一回立ち上げていただいて、今言ったADEの問題とか、リヤカーの問題とか本当にさまざまなことがありますので、それをぜひ地域の皆さんで、これはここに置いておくよとか、みんなでこういうふうに使おうとかということを相談しながら進めていただけるような、そういう形をつくっていきたいなど、こう思っております。その準備がなかなか本部のほうもできかねているところでございますが、これから順次それを進めていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

ただ、先ほどちょっとお話をありましたけれども、防潮堤ができるのが平成31年度と

ということで、大丈夫かという話もありましたが、とりあえず現時点では信用して平成31年度に完成してもらわなければなりませんが、ただこれは箱崎だけではなくて、ほとんど全ての地区で防潮堤が遅れています。下手をすると平成32年度、復興期間の最後でやっと防潮堤ができるということもございますので、先ほど防潮堤もない中で家を建てて住んで大丈夫かという話ですが、大丈夫ではないわけです。そこで、これは我々もどうしようもないで、大変申し訳ないのですが、住む方々がもう自己責任で、そういう状況の中ではあるけれども、早く住みましょうと、あるいは住んでいただきたいということでこの計画は進めておりますので、大変申し訳ないのですが、防潮堤はない中で、非常に危険な状況で生活をしているのだということはぜひご認識をしていただければと思います。

それから、さらにその中でも危険区域というのがあって、さっき赤い線で、道路から、2号線から下は危険区域だよという話がありました。当時はそこの線引きがなかなかはつきり定まらないときに、ここも危険区域になるかもしれないとか、いろんな話が出たと思います。先ほど、今日来ている方の話もありましたけれども、本当にその当時いろいろと混乱したと思いますが、いずれ平成25年に箱崎の危険区域の線は引かせてもらって、あのとき広報とかこの集会でもご説明させていただきましたけれども、平成25年、5年前ですね、災害危険区域とそうでない区域というのは分けさせていただいたということでございます。災害危険区域に住んでいる方々の土地は市が買ったのです。国の復興交付金で買ったので、それでまだら状態になっているわけですね。本当は全部買えれば広い土地でいろいろと利用ができたわけですが、残念ながら住んでいたところの土地だけは買ってもいいですよということなので、ああいう形になっています。

ですから、先ほども跡地の利用の促進が漁協さんの漁具置き場にするという話ですが、あれももうちょっと集約するということも大きな課題になっていると思います。本当は例えば工場をつくるとか、何かするという理由があれば国のはうでもいろいろと支援をしてくださるということなのですが、なかなかそういう大きなものをつくるという話がないですね。我々もいろいろ探したのですが、ないです。結局そのままの状態にあるか、あるいはグラウンドとか、公園とか、そういう格好にしかなかなか使えないというのが現状でございまして、現時点ではあのような形になっているということでございます。ただ、学校跡地の用地については今日地域の皆さんがあんまりおしゃべりをしたり、グラウンドゴルフをしたりというのに活用したいというお話を聞きましたので、これは実現の可能性が高いと思いますので、これは町内会の会長さんとか、地域会議等でもぜひ地域課題として取りまとめていただきたい、我々のはうに忘れられないように何度もお話ししていただければ、復興の次の計画という形で、グラウンドについては復興期間中でももしかしたら可能かもしれませんので、ちょっと考えさせていただきたいと思いますが、先ほどの道路も途中で、前に示

した道路は今回はできませんよという話もさせていただきましたけれども、今後どうするのだというご指摘もございましたので、箱崎の復興交付金でやる事業が今日説明したぐらいしかできないのですが、それ以外の事業は市ほうの計画でやっていかなければなりません。それは、いつどのような形でやるかというのは、また別個計画を立てて進めていかなければなりませんので、これは町内会の会長さんとか漁協さんのほうでよく地域の課題を取りまとめていただいて、地域会議等で提案をしていただいて、箱崎の将来像、これを一緒になって実現をしていくと、こういう形にしていきたいなと、こう思っているところでございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

今日は確認といいますか、平成 31 年度までにほぼ全ての事業が終わりますという話をさせていただきました。ただし、防潮堤も平成 31 年度で終わるということですが、ちょっとどうなるか分からぬ部分があるので、これもできるだけ平成 31 年度に完了するように我々も県のほうに一緒に努力をさせていただきます。

ただ、残念ながら遅れるのが鵜住居 2 号線ですね、鵜住居 2 号線は復興事業ではなくて別途市の事業として取り組んでおりますので、申しわけないのですが、平成 31 年度に終わらず、平成 32 年度もちょっと過ぎるところになろうかと思います。先ほどどんな道路ができるのだという話でございますけれども、ちゃんと前後の道路にぴちっとくっつけるように安全を確保して、そういう道路にするということで今調査をしておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

今日は本当にいろんなさまざまご意見をいただきました。7 年経ちましたけれども、まだまだ課題は山積しているなということを改めて感じたところでございますけれども、今日出されました意見、それから回答についてはちゃんと取りまとめてニュースレターという形で、今日出席していない方々にもちゃんと送らせていただきますので、どうぞまたそれを見て一緒に箱崎の青写真、みんなと一緒にになってつくっていきたいと、こう思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それから、最後になりますが、箱崎を離れているのだけれども、箱崎に土地を持っているという方々のお話もありました。そちらのほう、今日私も初めて聞いた部分ありますので、改めてもう少し検討させていただきたいと思いますが、もし今日、担当の人たちがいますから、もう少し中身を聞きたいというのであれば、どうぞ残って担当のほうと詳しく協議していただければと思っておりますので、どうよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、本日は本当に長時間にわたりましてご意見いただきました。まことにありがとうございます。どうぞ今後ともよろしくお願ひいたします。ありがとうございます。